

木本古道通り

委員会だより 地元説明会号
平成18年2月発行

みちづくり景観委員会

木本古道通り全体プラン説明会を開催しました！！

【全体プラン説明会の開催】

- ・住民の方々に対して全体プランの説明を行いました。
- ・平成18年1月19日（木）19:00～21:00
- ・熊野市商工会議所 3F 大会議室にて

◎全体プラン説明会では

はじめに和田委員長より木本古道通りみちづくり景観委員会で検討してきた笛吹橋から新出町のお稲荷さんまでの全体プランがまとまったので、関係する住民に対して説明会を開催することになったという説明会開催の趣旨説明がありました。

齊藤副委員長より、現在までの経緯として「松本峠・熊野市部会」で平成16年度に35項目の取り組みメニューをまとめ、平成17年度から実践してきたこと、景観に関する1～7項目については、「木本古道通りみちづくり景観委員会」を立ち上げ検討してきたことが伝えられました。

続いて和田委員長より、配付資料をもとに、石張舗装にする整備方針や石の大きさや工法、街路灯の整備方針などについて説明がありました。

今回は、これまでの委員会に参加されていなかった住民や関係者の方々に対する全体プランの説明会であり、様々な意見や質問が出されました。出された意見や質問に対して、これまでに委員会の中で話し合われている点や事務局側で回答できる点については、その場で回答が行なわれました。主な意見は裏面に示す通りです。

これらの意見を参考にし、次回の第6回木本古道通りみちづくり景観委員会にて最終案を確認する予定です。

《みちづくり景観委員会全体の流れ》

第1回	景観について、みんなで考える。	…8/19開催
第2回	まち歩きで、地域の状況を確認する。	…9/15開催
第3回	まちなみについて考える。	…10/14開催
第4回	道づくりについて考える。	…11/21開催
第5回	全体プランを確認する。	…12/21開催
	全体プラン説明会	…1/19開催 今回
第6回	最終案を確認する。	次回は最終案を確認します！

お問い合わせ・連絡先はこちら

- ◎三重県 紀南県民局 建設部
企画保全室 企画調整グループ
（担当：向井田・糺谷）
TEL0597-89-6146 FAX0597-89-6152
- ◎熊野市 市長公室
（担当：清水・尾中）
TEL0597-89-4111(代)FAX0597-89-5501

次回のみちづくり景観委員会のご案内

- ◎第6回木本古道通りみちづくり景観委員会
・平成18年2月20日（月）19:00～21:00
・熊野商工会議所 2F 研修室にて開催します。
・次回がみちづくり景観委員会としては、最後の委員会となりますので、ぜひご参加ください。

- ・祭りの山車の通行に影響がないのでしょうか。担いだり落としたりするが、石畳が山車に与える影響はどうでしょうか。

アスファルトと比べると石のほうが強度は確かに強いです。落とし方により絶対に山車が壊れないとは言い切れません。

- ・石畳の間（目地）に引っかからないのでしょうか。

目地の段差はほとんどありません。

- ・石畳がよいという案は、11/21の第4回委員会の時から出てきました。それから2ヶ月しかたっていないのに、もう決定なのでしょうか。時間が短くないのでしょうか。

当初から、全5回の委員会スケジュールの中で決定していく予定でした。さらに、委員会開催回数を全6回に追加しております。議論はされたと考えています。

- ・道路がきれいになったらすぐに木本の町がよくなるわけではありません。今回提示のマナー案のようなこととも相まって、この空間を本物にしていくべきである。

- ・もっと計画を住民に広めないといけません。いつのまにか決まっていたというのは心配です。

委員会の開催状況は委員会だよりを配布するなどしています。今日の説明会もそのためにを行っています。

- ・伊勢のおはらいまちで、石張舗装でも車の走るところは傷みやすいと聞きました。工法は同じではないのでしょうか。

石の下に舗装と密着させるインジェクト層をもうける特殊工法で施工する予定です。工法そのものではなく施工が悪いという現場もあると考えられます。

- ・水道も石張舗装と同時に工事してもらえるのでしょうか。

熊野市には渠道の石張舗装とあわせて、本町すべての水道管をかえる予算は確保できないそうです。また、本町はすぐに管をかえる必要がないと聞いています。

- ・今後の整備の予定時期を教えてください。

この計画で了解していただけるのであれば、まずは電柱修景について電線管理者と協議を進めます。平成18年度の予算で渠道工事を進めることとなります。どこから着手するかは今後の協議になりますので、この場では回答できません。

- ・デイサービスに通っている人、車いすや杖の人、押し車の人などがいます。弱者に対する配慮を十分してほしいです。

- ・住民に詳しく説明を行ってから、工事に入ってほしいです。

対応します。

- ・石畳は景観にあわないので工事してほしいです。

- ・こういう計画ができたことは良いことであるが、地域住民、現実に生活している人のことを優先的に考えてほしいです。

- ・反対というのではないが、石畳の道と自分の家の釣り合いがとれるか心配です。

- ・そこに住んでいる人が楽しく住む町でなければならぬと思います。